

平成30年9月28日

大阪府内障がい福祉サービス提供事業所の皆さまへ

高次脳機能障がい支援コンサルテーションのご案内

大阪府高次脳機能障がい相談支援センター

(大阪府障がい者自立相談支援センター身体障がい者支援課)

「高次脳機能障がい」が障がい福祉サービスの対象となってから10年以上が経過しました。地域の障がい福祉サービス事業所で、高次脳機能障がいの方を支援することも増えており、実際に支援されている事業所では、支援にあたって悩まれたり困っておられることも多いのではないかと思います。そこで、大阪府高次脳機能障がい相談支援センター（大阪府障がい者自立相談支援センター身体障がい者支援課）では、市区町村障がい福祉担当課職員や高次脳機能障がいの方を支援している支援者の方々への相談対応を拡充すべく、高次脳機能障がい支援コンサルテーションを下記のとおり実施いたしますのでお知らせいたします。支援者の皆さまにおかれましては、高次脳機能障がい支援コンサルテーションをぜひご活用いただき、高次脳機能障がいの方への支援の更なる充実にご協力いただきますようお願いいたします。

記

【趣旨】

地域で高次脳機能障がいの支援に悩んでいる支援者に対し、大阪府障がい者自立相談支援センター高次脳機能障がい支援コーディネーター（以下「コーディネーター」という）が事業所を訪問し、支援者が支援が難しいと感じている事例について、状況の整理や高次脳機能障がいの状態像の整理等を事業所職員の方々とともにを行い、自らの障がい福祉サービス事業所（以下「事業所」という）内におけるチームアプローチについて考えていただくきっかけとします。

【対象】

本コンサルテーションを希望する大阪府内事業所

【実施方法】

相談経路：高次脳機能障がいの方の援護の実施市区町村障がい福祉担当課経由でご相談ください。（事例に関しては、援護の実施機関が大阪府内の市町村のケースが対象です）

派遣コーディネーター職種：ケースワーカー1名、心理職1名

1事業所あたりの訪問回数：1～3回。

<相談例>

- ・作業の手順がなかなか覚えられなく、職員がずっとついておかないといけないので大変なだけだ。。。
- ・予定を忘れてしまうので、就職のための面接の約束ができない。本人は就労を希望しているのだけどどうしたら良いかな。。。
- ・カッとなると、周りの声が耳に入らなくなるみたい。大きな声を出すから他の利用者さんが怖がってるんだだけ。。。
- ・突然怒り出して、「うるさい」など暴言をはくんだけど、どうしたら良いかな。。。

など

⇒例えばこのような相談に対し、支援者の方々とコーディネーターとが一緒に状況等の整理を行い、今後も事業所で支援をしていくためにどうすればいいのか、対応について共に検討します。

具体的には…

- ①コーディネーターが本人を支援している事業所を訪問し、実際の事業所の中でどのように支援をされておられるのかをお聞きします。また（可能であれば）本人の様子を見せていただきます。
- ②（必要であれば）事業所の職員に集まっただき、コーディネーターより高次脳機能障がいの基礎知識などの説明をします。
- ③支援をしている事業所職員、相談支援専門員、市区町村担当職員等とコーディネーターがともに、困っている状況について全員で共有し、状況等について一緒に整理し、対応方法をともに検討します。

【高次脳機能障がい支援コンサルテーションを活用いただく際の留意点】

- ・市区町村障がい福祉担当課から申し込んでいただく流れになります。当センターに直接の申し込みはできませんのでご注意ください。
- ・高次脳機能障がいの診断や診断書作成等の医療的な支援の対応はできません。また、神経心理学的検査を行うこともできません。
- ・障がい福祉サービス事業所における支援を継続することが前提となっているコンサルテーションとなります。
- ・当センター所属のコーディネーター2名で対応をさせていただきます。そのため申し込んでいただいてから、実際に事業所にお伺いさせていただくまでに時間を要する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・本人や家族の方にコンサルテーションを行うことの同意を得てください。同意を得ることが難しい場合は、本人のお名前等、個人が特定できる情報を省いた上で申し込んでください。